

平成 27 年 第 10 回定例会

# 岩見沢市教育委員会会議録

平成 27 年 10 月 22 日 開会

平成 27 年 10 月 22 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成27年 第10回定例会  
岩見沢市教育委員会会議録  
(平成27年10月22日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第11号 教育長の一般経過報告について
- 2 議案第69号 平成27年度岩見沢市教育振興表彰について
- 3 協議 12 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	渡 邊 律 子
教 育 長	舛 甚 和 俊

教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
学 校 給 食 課 主 幹	合 川 和 幸
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
教 育 施 設 課 長	坂 口 暢 明
子 ども 課 長	所 美 穂 子
図 書 館 長	勝 田 真 澄
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後 3 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 ただ今から平成 27 年第 10 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、渡邊委員さんをお願いします。

初めに、日程番号 1、報告第 11 号 教育長の一般経過報告について 説明をお願いします。

○舩甚教育長 平成 27 年 9 月 8 日から 10 月 15 日における事務処理の概要について、ご説明申し上げます。

9 月 8 日、市議会第 3 回定例会の一般質問が引き続き行われました。

15 日、教育振興会教育研究大会が行われ、市内小中学校 25 校全てが参加しております。

今年度は、東ブロックの明成中と日の出小を中心として授業公開を行っております。

16 日、空知公立幼稚園教育研究大会がありました。

19 日、岩見沢中央ライオンズ旗少年野球大会、また、10 月 3 日には岩見沢市長杯争奪少年野球新人戦大会がありました。それぞれ 8 チームが参加しております。

10 月 6 日、職員採用試験委員会がありました。

今年は申込みが 212 名あり、152 名が受験されました。こちらの人数には消防も含まれております。非常に高い倍率となっています。

12 日、ふれあいウォーク&ラン表彰式、それから幌向市民文化祭がありました。岩見沢は文化・スポーツにも力を入れたまちづくりをしているということを感じております。

以上でございます。

○武蔵委員長 ただ今、教育長のほうから一般経過報告がありました。

委員の皆様から、この件につきましてご意見ご質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大橋委員 10 月 2 日の小・中学校の適正配置に伴う地域説明会について、新聞でも報道されておりましたが、例えば人数的なことですか、状況について、教育長からでなく事務局の方からでも結構ですから、補足して説明してください。

○加藤学校教育課長 大橋委員からのご質問でございますが、手元に正確な数字はありませんが、参加者約 50 名程度です。場の雰囲気といたしまして、地域からの町会長さんと、PTA 関係者ということでご出席をいただきました。

報道のとおり、町会長さんからは、地域衰退につながるということで、厳しいご意見が多々ございました。

PTA からも、自分たちの子どもがいる間は避けてほしいというご意見や、他県から転入されてきた保護者の方のご意見では、美流渡の地域の素晴らしさを言われておりました。

ただ、一方で、来年度小学校に上がる保護者からは、今、大勢の子どもがいる岩見沢市内の幼稚園に行っているため、保護者の方のご意見としては、やはり、小さな学校より大勢の中で学ばせたいというイメージもありまして、大々的に賛成という評価ではなかった

ですけれども、統廃合に向かってという意見も少数ではありますが、ありました。

今後は、数回にわたりまして、地域に出向いて、教育環境の面からお話をしていかなければならないということで、教育長からお話がありましたので、説明や意見交換をしていきたいなと思っております。

ただ、その説明会の仕方については、前回同様、大勢に対して、ということにするのか、あるいはPTAを中心にまずは教育環境のお話をさし上げて、その後、地域活性化のためにという話題にするかですとか、いろいろ方法があると考えております。

あまり遅くならないよう、来月のうちにはテーマを絞って、そしてPTAのほうにという話を、内部では調整をしているところでございます。

以上です。

○大橋委員 はい、ありがとうございました。

○武蔵委員長 いずれにしても、理解を得るために丁寧な説明を続けていくということだったと思います。

まずは、1回目の地域説明会が行われたということです。

他にございますか。

なければ、この報告については終了といたします。

続きまして、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○名和田教育部長 私のほうから、議案第69号 平成27年度岩見沢市教育振興表彰についての提案理由をご説明いたします。

平成27年度教育振興表彰の被表彰者の選定について、ご審議を願うものであります。

以上です。

○武蔵委員長 それでは、日程番号2、議案第69号 平成27年度岩見沢市教育振興表彰について を審議いたします。

説明をお願いいたします。

○加藤学校教育課長 議案第69号 平成27年度岩見沢市教育振興表彰について、ご説明をいたします。

去る9月17日、教育長を選考委員長とする選考委員会を開催し、6名を選考いたしました。

つきましては、各被表彰者の概要につきまして、別紙推薦書によりご説明をいたします。

なお、担当課長から順次説明員を交替して、ご説明をさせていただきます。

まず、学校教育課でございます。

一般社団法人、岩見沢歯科医師会からの推薦でございます。

候補者は、鍵谷歯科医院の院長、鍵谷隆一氏64歳でございます。

鍵谷氏は昭和54年4月に鍵谷医院を引き継ぎ、院長に就任され、現在まで市内で地域医療に専念する傍ら、岩見沢歯科医師会の理事・副会長・会長を歴任し、その立場から、学校保健の健全化にも取り組まれております。

また、昭和60年4月から現在まで、東光中学校の学校歯科医として、生徒の口腔衛生の増進にご尽力をいただいております。

鍵谷氏の経歴につきましては、記載のとおりでございますので、ご覧いただきたいと思っております。

以上のことから、岩見沢市教育振興表彰基準第2条第2号の規定により、表彰いたしたくご審議のほどよろしくお願いいたします。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 生涯学習・文化・スポーツ振興課からは、5名の方を推薦させていただいております。

最初に、社会教育功勞として、高岡いづみ氏でございます。

当課からの推薦でございます。

高岡氏は平成15年から、岩見沢市社会教育委員を務められるとともに、平成22年からは社会教育委員の会議議長の要職にあたり、会議の取りまとめ役として、中心的な役割を担い、会議運営にご尽力されております。

平成26年には岩見沢市社会教育中期計画の策定にあたり、会議の中心となって携わるなど、市の社会教育行政の推進発展にご貢献されております。

表彰基準につきましては、社会教育委員に10年以上在職されており、第2条第1号の該当でございます。

次に、文化功勞として、中澤一麻氏でございます。

栗沢町文化協会からの推薦です。

中澤氏は、栗沢町職員を退職後、栗沢町文化協会事務局として協会運営に携わり、平成11年度から副会長、平成15年度から平成26年度まで12年間は会長を務められ、栗沢地域における文化団体のリーダーとして、地域文化の高揚と協会の発展にご尽力されております。

表彰基準は、栗沢町文化協会会長に10年以上在職されており、第2条第2号の該当でございます。

次に、同じく文化功勞として、小島佐榮子氏でございます。

岩見沢文化連盟からの推薦です。

小島氏は昭和28年に華道家元池坊、昭和36年に茶道裏千家太田社中にそれぞれ入門され、その後、華道と茶道のそれぞれの教室を開き、後進の指導育成に努められるとともに、高等学校の技芸講師として指導にあたるなど、日本の伝統文化であります華道と茶道の普及発展にご尽力されております。

また、平成9年から平成16年まで、文化連盟理事として、文化祭等の茶道を主導するなどご活躍され、連盟の発展にご貢献されております。

表彰基準は、茶道裏千家淡交会岩見沢支部幹事に10年以上在職されており、第2条第2号の該当でございます。

次に、体育功勞として、高橋勉氏でございます。

岩見沢弓道連盟からの推薦です。

高橋氏は、平成10年に岩見沢弓道連盟に加入し、平成15年から理事及び理事長、平成19年からは副会長の要職を歴任され、弓道の普及発展にご尽力されております。

連盟の一般会員への指導をはじめ、初心者弓道教室や高等学校弓道部に対する指導にも熱心に取り組み、生涯スポーツとしての弓道の普及と青少年の健全育成にご貢献されております。

表彰基準につきましては、弓道連盟理事長及び副会長に通算14年在職されており、特に功勞の著しい者として、第2条第3号による推薦でございます。

最後になります、同じく体育功勞として、田中勝久氏でございます。

岩見沢市パークゴルフ協会からの推薦です。

田中氏は平成8年の設立当初から、岩見沢市パークゴルフ協会に加入し、以来協会の副会長として、地域におけるパークゴルフの普及発展にご尽力されております。

平成18年からは、日本パークゴルフ協会の主任指導員として、岩見沢市のみならず空知全域において、指導員育成の講習会や研修会の講師を務められ、指導員の育成にあたりご活躍をされております。

また、平成21年からは市民のスポーツ活動を支援いたしますボランティア団体、岩見沢市スポーツ協力者の会の副会長、会長を歴任されており、広く地域スポーツの振興にご貢献されている方でございます。

表彰基準は、岩見沢市パークゴルフ協会の副会長に10年以上在職されており、第2条第2号の該当でございます。

以上でございます。

ご審議よろしくお願いたします。

○武蔵委員長 はい、ただ今、議案第69号についての説明がございました。

6名の方の表彰推薦についてですが、委員の皆様からご意見、ご質問がありましたら、お願いしたいと思います。

皆さんそれぞれ素晴らしい活動をされている方たちです。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、ご異議がないということでございますので、議案第69号につきましては、原案のとおり決定といたします。

続きまして、日程番号3、協議12 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について を審議いたします。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 協議12、平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果委報告書」への市町村別結果の掲載について、ご説明いたします。

資料でございますように、10月7日付け北海道教育委員会教育長名の文書で、平成2

7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について照会がまいりました。

これは、同調査の今年度の実施要領で、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であると明記されるとともに、都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村又は当該教育委員会が設置する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされたことを受け、北海道教育委員会として、実施要領に基づき、一層きめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、市町村教育委員会の同意を前提として、2月を目途に公表を予定をしている同調査の、「北海道版結果報告書」に、市町村の結果を公表することを決定し、岩見沢市教育委員会に対しても、岩見沢市の結果公表について、同意を求めてきたものであります。

なお、道教委は、学校別の結果は明らかにする考えはないとのことです。

今年度の調査結果につきましては、まだ公表されておりませんが、結果が出次第、例年どおり、教育研究所にて詳細な分析を行い、改善策も含め、道教委の結果報告書の公表前までに、教育委員会にお諮りし、教育委員会ホームページに掲載する形で、市民に向け公表したいと考えております。

資料の2枚目に、同意回答書がございます。

更にその次のページから、同調査の実施要領を掲載しております。

ご協議をお願いいたします。

○武蔵委員長 はい、協議12についての説明がありました。この件につきまして、委員の皆様から、ご意見ご質問ございましたら、お願いしたいと思います。

昨年も同意して、道教委のほうには結果を出しております。

それから、8月に協議しました学力・学習状況調査の件につきましても、条件を付けたうえで、報告をするということになっています。本件もそのような方向で考えてよろしいでしょうか。

○大橋委員 昨年も申し上げており、また、学力・学習状況調査の協議の際にもお話したとおり、結果について、課題と成果を検証して、改善に役立てるという趣旨に則って、これに賛同するというのであれば、私は異議ございません。

いかに岩見沢市の子どもたちの体力向上につなげていくかということを考え、市民に結果を公表するという意味で、賛同したいと思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

他にご意見ございますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 今、大橋委員さんが言われましたように、結果を公開することが目的ではありませんので、改善に役立てるという趣旨に則った道教委の取組をお願いしたいという付帯意見を付けてこのように進めていただければと思います。

協議12については、そういうことで、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、その他に移ります。

委員の皆様から何かお持ちの方いらっしゃいませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 特になければ、事務局のほうから、何かございますか。

○兼平指導室長 平成27年度教育行政方針の中間評価の報告をさせていただきたいと思  
います。

お手元に、A4判の資料とそれからA3判のカラー刷りの資料とがございます。

A3判は各校の回答をまとめたものですが、質問項目の文字が非常に小さくて、読み取  
りにくくなっており大変申し訳ございません。

一昨年度は達成率8割未満、昨年度は9割未満の項目を、ピックアップさせていただき  
ましたが、今年度はさらにハードルを上げまして、100%の達成に至らなかった項目す  
べてを挙げることにいたしました。

100%の項目のほうが多かったということ踏まえてでございます。

100%に至らなかった項目は14項目ございまして、うち1項目が、90%未満とい  
う結果でございました。

この90%に至らなかった、84%となりました項目ですが、「学校が企画立案する学力  
向上策などを支援する、未来広がる学校活動支援事業の実施」という表現でございまして、  
本来行政側が行うべき施策の表現のまま、学校に流してしまったということがございまし  
て、学校がどのように答えるべきか戸惑ったことも、この低い達成率の一因かなと考えて  
おります。

今年度は、他の項目につきましても、学校が回答することを想定して、質問を読み替  
える作業が若干適切さを欠いた項目も何か所かございまして、今後は改善してまいりたい  
と考えております。

いずれにしても、教育行政方針を受けて、それぞれの学校が適切に学校運営、学校  
経営に反映するという体制が年々整ってきていると、考えております。

全ての項目が100%に近づくように、引き続き各学校に働きかけてまいりたいと考  
えております。

以上です。

○武蔵委員長 教育行政方針の中間評価について、9月11日現在の中間報告であります。

この件につきまして、皆様のほうからご質問がありましたら、お願いしたいと思います。

学力向上策への支援という表現では、支援が不足していると言われていたようにも受け  
取られるかもしれません。

○兼平指導室長 そう受け取ったのか、それとも学校の取組が不足しているというふうに  
考えて、回答した学校と差が出たのだろうなと思います。

○武蔵委員長 よろしいですか。

中間報告ということですので。ぜひ100%になるように、よろしくお願ひしたいと思いま



す。

他にございますか。

なければ、来月の定例会の日程について、決めさせていただきます。

第3火曜日は11月17日ですが、諸事情により、11月18日水曜日に開催したいということです。よろしいでしょうか。

時間につきましては、午後2時からということよろしいですか。

それでは、11月の定例会については、11月18日水曜日、午後2時からこちらの会議室で開催をいたします。よろしくをお願いします。

それでは、以上をもちまして、第10回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労様でした。

午後3時24分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員